

各地駐車協会だより

■ 高松市駐車場協同組合の紹介

高松市駐車場協同組合 事務局長 池田 靖夫

概要

高松市駐車場協同組合は西暦2004年に、それまで互助団体としてあった高松市駐車場協会から発展的に協同組合組織として設立しました。設立後は、加盟組合員である駐車場経営者の安定的な発展に寄与できるよう活動しております。

共通駐車サービス券の運営

当組合では組合加盟駐車場で利用できる共通駐車サービス券を作成しております。このサービス券は、高松中央商店街振興組合連合会加盟の8つの商店街(下記一覧表参照)と、丸亀町グリーン(2012年に商店街再開発の一環としてオープンした複合ショッピングモール)と連携し、主に買い物客に向けて、駐車場利用の利便性向上を目的として運用されているものです。

当組合より各商店街にサービス券を購入していただき、商店街加盟店が買い物していただいたお客様にサービス券をお渡しすると、当組合加盟の駐車場であればどこでも利用することができます。また、加盟組合員ではありませんが、香川県や高松市の行政組織と提携し、香川県営の駐車場や高松市営の駐車場でもこのサービス券を利用することが可能です。それにより、利用可能な駐車場と収容台数を増やすことができ、市内中心部の幅広い場所を網羅できております(右記案内図参照)。

市内共通駐車券は
下記指定駐車場で
ご利用頂けます。

●1回の駐車に何枚でも使用できます。
●60分券・30分券を継ぎ足した駐車料金については、各々の駐車場の料金システムにより追加料金をお支払い下さい。
●お問い合わせは、ご利用希望の各駐車場までお願い致します。

高松9商店街合計約4000台収容可能。この券は高松市中央商店街の各店で発行しています。

● ばや通の片側町駐車場
● 京住パーキング
● 丸の内パーキング
● 丸亀町宮前街駐車場
● スマイルパーキング内町
● グランド劇場パーキング
● 古新町パーキング
● カーパーク百間町
● 多津美パーキング
● 丸亀町くまりん駐車場
● 美術館通り駐車場
● クリーン駐車場
● 丸亀町西 丸い鳩さん
● プルパーキング
● センタールビルパーキング
● 高松シティホテルパーキング
● 互助グランドパーキング
● 谷津駐車場
● 寿原駐車場
● 田町駐車場
● 高松市立美術館地下駐車場
● 高松市立中央駐車場
● 高松市立立町地下駐車場
● 高松市立南郷駐車場
● 香川県南町地下駐車場
● 香川県玉置町駐車場

高松市駐車場協同組合 〒760-0053 高松市田町3番地33
TEL 087(831)5590

さらに、商店街に加盟していない店舗は、組合から直接購入することでこのサービス券を利用できるのですが、最近その利用が特に増えてきており、サービス券の利用価値が高まっているのを感じております。

当組合ではこのサービス券のシステムを独自に開発し、バーコードの付与から収集後の請求金額

確定までパソコンとサーバーにより一元管理できるようになっております。このシステムが2007年に稼働後、2023年3月末時点でサービス券の発行枚数累計約80万枚、利用枚数は累計約66万枚となりました。

サービス券の運用は当組合に安定的に利益をもたらせてくれており、今後も利用者の拡大が見込まれておりますが、課題もあります。ひとつは加盟組合員である駐車場の減少です。不景気の影響であるとか、タワー型駐車場の老朽化の問題等もあり、組合員は減少傾向です。

もうひとつは、サービス券自体の紙の値上がりです。世界的な原材料費の値上がりの影響は避けられず、このサービス券の原紙の価格も改定せざるを得ませんでした。また、再度値上げとなれば、サービス券の単価にも影響する可能性があります。

この共通駐車サービス券のシステムは市民に幅広く認知され、定着しており、当組合では永続的に安定した運用を続けられるよう努めて参りたいと考えております。

【高松市の紹介】

地元、高松市について簡単に紹介させていただきます。

高松市は、多島美を誇る波静かな瀬戸内海に面し、これまで、人々の暮らしや経済・文化など様々な面において、瀬戸内海との深いかかわりの中で、県都として、また、四国の中核管理都市として発展を続けてきた、海に開かれた都市です。

気候は、年間を通して寒暖の差が小さく、降水量が少ないのが特色です。

「高松」は鎌倉時代に開け始め、天正16年(1588年)豊臣秀吉の家臣生駒親正が玉藻浦に居城を築き高松城と名付けたことに由来し、生駒4代54年、松平11代220年を通じて城下町として栄えました。

明治維新の廃藩置県後、香川県の県庁所在地となり、明治23年2月15日に市制をしき、全国40番目の市としてスタートしました。

これまでに大正、昭和、平成を通じ、8回にわたる合併で、北は瀬戸内海から南は徳島県境に至る、海・山・川など恵まれた自然を有する広範な市域の中に、にぎわいのある都心やのどかな田園など、都市機能・水・緑が程よく調和し、豊かな生活空間を有する都市となっています。

恵まれた風土と地理的優位性を生かし、四国の中核管理都市として発展してきましたが、特

高松市中央商店街振興組合連合会加盟商店街

高松兵庫町商店街振興組合
高松片原町西部商店街振興組合
高松片原町東部商店街振興組合
高松ライオン通商店街振興組合
高松丸亀町商店街振興組合
高松南新町商店街振興組合
高松常磐町商店街振興組合
高松田町商店街振興組合

に昭和63年の瀬戸大橋開通や平成元年の新高松空港開港、平成4年の四国横断自動車道の高松への延伸などにより高松市を取り巻く環境が大きく変化する中、平成11年4月、中核市に移行しました。

今後は、「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」を目指して、それぞれの地域の特徴をいかした、都市的利便性と自然的環境が享受できる都市の実現に向け、本市にふさわしい、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めていきます。

令和2年(2020年)には市制施行130周年の節目の年を迎えました。

【高松市の見どころ】

○名所

・サンポート高松

JR高松駅・高松港周辺に整備された四国の新しい玄関。瀬戸内海に隣接し海に親しむ遊び場や遊歩道など、市民の憩いの場となっています。シンボルタワーをはじめ高松港レストハウスやホテル、JR高松駅、そして、高松城跡の玉藻公園、香川県県民ホールなどが林立し、それらを複合しての多彩なイベントや大会を開催することができます。



サンポート高松周辺

シンボルタワーは、サンポート高松の中核施設。国際化・情報化に対応した文化・コンベンション機能、情報発信交流機能、民間の業務・商業機能など多様な機能を備えています。

・栗林公園

栗林公園の歴史は古く、江戸時代初期(1630年頃)に、讃岐の藩主・生駒高俊が南湖一带を造園し別荘を建てたのに始まります。以来歴代の松平藩主によって手を加えられ、およそ100年の時をかけて現在の南庭が完成しました。南庭は6つの池と13の築山からなる回遊式大名庭園・緑と水・橋・石・建物、それぞれが趣をもち、絶妙な調和を奏でます。風流な園をそぞろ



栗林公園

歩けば、古き良き日本の文化の粋がそこここに。さらに、公園と連なる紫雲山の四季折々の表情と相まって、立体的な深い情緒を創りだし、訪れる人々を幽玄な世界へと誘います。

・高松市中央商店街

中央商店街は、約400年前に築城された高松城の城下町の中心として栄えてきた、歴史と伝統のある商店街です。8つの商店街があり、約800の小売店、飲食店が軒を連ねています。日本一とも言われる総延長2.7kmの連続したアーケード街を形成し、オフィスビルが立ち並ぶ中央通りとともに、商都高松の顔としてにぎわっています。



中央商店街 三町ドーム

2012年4月には商店街再開発事業として複合商業施設「丸亀町グリーン」がオープンしました。

○名産品

・讃岐うどん

うどんと言えば誰もが、讃岐うどんを思い浮かべるのではないのでしょうか。香川県においてもうどんは特に好まれている料理であり、一人あたりの消費量もずば抜けています。料理等に地域名を冠してブランド化する地域ブランドの1つとしても、讃岐うどんは観光客の増加、うどん生産量の増加、知名度注目度の上昇などの



讃岐うどん

効果をもたらし、地域ブランド成功例の筆頭に挙げられています。そこで香川県庁および香川県観光協会がうどんを全面的に推しだした観光キャンペーン「うどん県。それだけじゃない香川県」をスタートさせました。

ご都合がよければ、お越しく下さい。お待ちしております。